

大谷グローブが町内の各小学校に届きました

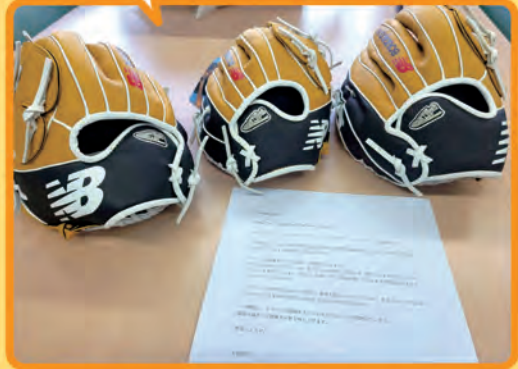
メジャーリーグで活躍されている大谷翔平選手から全国の子どもたちに贈られているグローブが美郷町にも届き、1月15日から16日にかけて町内の各小学校でお披露目式が行われました。式では、実際にグローブを手にはめて感触を確かめたり、キャッチボールを楽しんだりしました。

各小学校に寄贈されたグローブはサイズの違う右利き用が2個、左利き用が1個の計3個。いずれもジュニア用グローブで、手のひら側には大谷選手のサインが書かれています。

グローブのほかにメッセージカードも同封されていて、カードには「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます」など、今回の寄贈に対する大谷選手の思いが書かれていて、最後は「野球しようぜ!」の言葉で締めくくられていました。

寄贈されたグローブは授業や休み時間での活用、校内での展示をする予定です。大谷選手ありがとうございました。

大谷選手から寄贈されたグローブとメッセージカード



薬のみに頼らず健康な生活を 美郷カレッジ

東北大学大学院農学研究科長・学部長の北澤春樹氏が講師を務める「美郷カレッジ」が、12月16日に美郷町公民館で開催されました。北澤氏は「プロバイオティック革命:健康長寿を支える『(ポスト)イムノバイオティクス』の魅力」と題して講演し、「薬にできるだけ頼らず健康的な生活を送るためには食べ物の力が大きく影響するため、プロバイオティクス(乳酸菌やビフィズス菌など生きた微生物で、人の健康に寄与するもの)への注目が高まっている。その中でも特に免疫力を高めるようなものをイムノバイオティクスと呼んでいて、ヨーグルトや海藻などさまざまな食品に応用できるよう研究を進めている」と話しました。参加者は最先端の研究内容に興味深く聞き入り、自身の健康を考える良い機会となりました。

相撲道への精進を誓う

美郷町相撲連盟新年初稽古

美郷町相撲連盟(伊藤福章会長)が主催する新春恒例の初稽古が、1月1日に美郷中学校相撲道場で行われ、美郷相撲スポーツ少年団や美郷中学校相撲部、そのOBなど合わせて約30名が参加しました。

当日は稽古に先立ち神事を行い、ことし一年の精進と安全を祈願。その後、四股踏みやすり足などの基本稽古で体を温め、本番さながらの取組を行いました。小中学生が先輩力士の胸を借りる場面も見られ、ぶつかり合う大きな音や掛け声などが会場に響き渡りました。



MISATOPICS

町の話



美郷町生活応援券のご使用はお早めに！

広報美郷令和6年1月号等でお知らせのとおり、すべての美郷町生活応援券の使用期限を令和6年2月29日(木)まで延長しています。使用期限にご注意の上、町内取扱店でお早めにご使用ください。

■使用期限

延長前:令和6年1月31日(木)

延長後:令和6年2月29日(木)

※使用期限が「令和6年1月31日(木)まで」と記載されている応援券については、「**令和6年2月29日(木)まで**」と読み替えて使用してください。

美郷町生活応援券取扱店の皆さんへ 応援券の換金をお忘れなく！

使用された応援券については、取扱店が金融機関窓口で換金手続きをしていただくことで、町から取扱店に換金代金が振り込まれます。**応援券の換金期限は令和6年3月8日(金)**となっていますので、換金忘れないようご注意ください。

問●町商工観光交流課 交流・商工班 ☎0187(84)4909

困難と工夫と節約と

COLUMN WINDS

コラム

風

美郷町長
松田知己

新年初日に石川県で大地震が発生、そして翌日には旅客機と輸送機の衝突事故。安寧を願った令和6年でしたが、表現の難しい重さを背負って年が始まりました。お亡くなりになった方々のご冥福を心からお祈りするとともに、今なお不自由な生活を重ねている被災者のみなさまに心からお見舞いを申し上げます。

また、被災地の自治体においては被災者支援並びに行政サービスの復旧のために、想像を超える対応と努力をしているものと思えます。その対応にはもちろん予算が必要で、状況によっては議会を開かず予算確保する専決処分を行い、最大限工夫して迅速に対応しているものと思います。心から

敬意を表します。

そんな中、美郷町はどうかと言いますと、幸いにも大きな災害や事故はなく、今までのところ穏やかに経過しております。ありがたいことだと心から思います。ただし2点の「困難」を除いてです。その一つが通常はあり得ない冬期の熊出没(子熊でしたが)。普通は冬眠するでしょうに。熊さん、もう出ないでください。そしてもう一つが来年度の予算編成作業。記憶の中では、過去2番目の困難さです。収入と支出の帳尻合わせに大汗です。原因はいくつかあり、今回だけの困難さと言えないところが厄介なところ。一つ目は「意識して注意する」しかありませんが、二つ目は先々

を見据えて財政健全化、というより財政悪化防止に向けた工夫と努力が必要です。予算には光熱水費や人件費などの経常的経費と、各種施策を展開するための政策的経費がありますが、まずは経常的経費の見直しについて改めて検討に着手します。さまざまな事情がありますので、それを受け止めつつ、社会状況なども見据えた新たな工夫を模索するよう取り組みたいと思います。どういう工夫があるのか、やってみないと分からない部分もありますが、みなさんには取り組みに対するご理解をよろしくお願いいたします。

ラーメン屋でトッピングする、しないを迷ったことはないでしょうか。財布を考えて、結果「しない」を選択した経験は誰しもあるはず。これは「ケチ」ではなく「節約」です。要はそれです。



▲美郷町相撲連盟新年初稽古
であいさつをする松田町長